

北海道北広島市における基本計画の概要

平成30年3月28日同意
平成30年10月30日変更同意

計画のポイント

北広島市では、全産業の付加価値額において運輸業・郵便業が20.2%、医療・福祉が19.0%、卸売業・小売業が16.4%、製造業が16.2%を占める経済構造となっている。このうち製造業では、製造品出荷額が848億円（道内179市町村中13位、平成26年工業統計）で伸率は前年度と比較して12.5%増となるなど、平成22年度から4年連続の増加となっている。また、主要幹線道路（道央自動車道、国道36号・274号等）を擁していることから、札幌市や新千歳空港、石狩湾新港・苫小牧港へのアクセスが良好であるなど交通の要衝として高い優位性を持つほか、市内6つの工業団地に多くの物流関連企業が立地している。

こうした地域特性を生かした事業を推進し、関連産業のさらなる付加価値創出を目指すとともに、安定かつ質の高い雇用創出や地域内の他産業への経済的波及効果により、地域経済における好循環環境の形成を目指す。

さらに、きたひろしま総合運動公園予定地における北海道日本ハムファイターズが掲げるボールパーク構想の実現により、スタジアムに付随する商業、宿泊、アウトドア体験等の機能を有した施設の建設の他、地域への波及効果による宿泊業、飲食サービス業の成長を目指す。

促進区域

北海道北広島市

経済的効果の目標

- ・1件あたり平均40百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を4件創出。
- ・これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.45倍の波及効果を与え、促進区域で**232百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～④のいずれか）】

- ①北広島市の道央自動車道等の交通インフラを活用した**物流関連分野**
- ②北広島市の化学工業、印刷・同関連業等の集積を活用した**ものづくり関連分野**
- ③北広島市の道央自動車道等の交通インフラを活用した**食料品製造関連分野**
- ④北広島市の「きたひろしま総合運動公園予定地」等のインフラを活用した**スポーツ・観光・まちづくり関連分野**

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分が3,920万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- ①売上：6%増加
- ②雇用者数：10%増加
- ③1常用従業員あたりの現金給与総額：10%増加

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税・固定資産税の減免措置
- ・北海道産業振興条例に基づく助成措置
- ・情報処理の促進のための環境の整備（公共データの民間公開に関する事項等）
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・新たな工業系土地利用について開発の可否を判断するための調査
- ・地方創生関連施策

《促進区域図》



地域経済牽引支援機関

- ・北広島商工会
- ・星槎道都大学
- ・(株)北洋銀行
- ・(株)北海道銀行
- ・北海道信用金庫

計画期間

計画同意の日から令和5年度末日、又は、新基本方針に基づいて、令和5年度末日までに改めて新基本計画を作成する場合は、当該新基本計画の同意日の前日のいずれか早い日まで